

吉野川市山川町川東の児童文学作家、原田一美さん(81)が1960年代に書いたノンフィクション「ホタルの歌」の文学碑が今夏、舞台になった同市美郷に建つ。

教師として児童と一緒に取り組んだホタルの研究を題材にした物語で、教え子が準備を進めている。原田さんは「教師冥利に尽きる」と喜んでいる。

児童文学作家・原田さん(吉野川市)作

児童と取り組んだ研究物語

「ホタルの歌」碑建立

碑は美郷宗田の美郷ほたる館駐車場に建立する。高さ約二メートル、桜色の紅麻石に「ホタルの歌」復刻版の表紙を写した陶板と、教え子の名を刻んだステンレス板をはじめ込む。六月八日に除幕式を行う。

原田さんは一九六六(昭和四十一)年から六年間、美郷の中枝小学校(二〇〇七年休校)の教

美郷で来月除幕式

師を務めた。児童と行った。「ホタルの歌」の復刻版が今年一月に出たのを機に、資金を出し合っ

た。当時、原田さんに教わった児童は約二百人。県内外に散らばっているが、地元でホタルの保護活動をしている人もい

復刻版機に教え子準備

「ホタルの歌」文学碑が建つ美郷ほたる館駐車場。吉野川市美郷

